

No.56 熊 広報

平成 28 年 10 月 15 日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
地区長 竹中 兼利
公民館長 三浦喜代次

敬老会開催

地区長 竹中 兼利

九月一〇日(土)熊地区敬老会が開催されました。よい天候に恵まれて開催できたことを心からうれしく思います。

来賓として、刈谷市長竹中良則様をはじめとして国会議員、社会福祉協議会会長、民生児童委員、老壮会会長様のご臨席により会に華をそえていただき感謝申し上げます。なお、余興の時に大見正議員様からシルバー川柳を交えたお話をいただきました。三百五十一名の敬老会員のうち百二十四名の方が式典に参加されました。

式典の終わりには会員を代表して森



竹中地区長の開催の挨拶

野邊栄次郎様が心のこもった謝辞を述べられました。

今年の余興は、まずマジックショーが刈谷マジッククラブの神谷智子様によつて華麗に展開されました。続いて婦人会からは、お琴の演奏「六段の調べ」が華やかに奏でられ、続いてお琴に合わせて「荒城の月・青い山脈・ふるさと」

がうたわれました。子ども会からは「浦島太郎仮装パフォーマンズ」と題して寸劇が演じられました。今年も亀城小学校合唱部二十三名の友情出演を得て、「ふるさと」の合唱がありました。最後は民謡愛好会の皆様による踊り「一声一代・みちのくラプソディー・愛のかげろう」で幕を閉じました。

短い時間でしたが、最後まで楽しい時間を過ごすことができ、みなさんは笑顔で帰られました。

敬老会員皆さんの今後益々のご健勝と長寿万歳をお祈り申し上げます。



余興 心地よい琴の演奏

敬老会お祝いのごとば

刈谷市長 竹中 良則

本日、熊地区の皆様が長寿を祝福し、敬老会を開催されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

熊地区の皆様には、日頃から本市の福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

お祝いを
受けられ
ます皆様
方は、永
年にわた
り様々な分



竹中市長のお祝いの挨拶

野で「活躍され、今ある郷土の繁栄と活力ある社会をお築きになりました。ここに、改めて敬意を表するとともに、ご長寿を心からお祝い申し上げます。

我が国の平均寿命は、男性が八十七・七九歳、女性が八十七・〇五歳となり、世界で最も長寿の国でございます。

また、本市において、今年の敬老会でお祝いを受けられる七十六歳以上の方は一万二千六十一名、数えて百歳以上の方が七十八名おみえになり、市内最高齢の方は今年で百八歳を迎えられております。このように多くの皆様がいきいきと

元気でお過ごしいただき、ご長寿を喜びあえることを、大変嬉しく思っています。

さて、去る七月一日、本市の総人口は遂に十五万人に達しました。

人口減少が社会問題化している中にあつて、本市は、豊かな自然や活発な商業、そして文化的資源に恵まれた魅力溢れる住環境ゆえに、益々、活気に満ちてきております。

この様に発展著しい本市ではありますが、日々の営みや生活におきましては先人の知恵や経験は何物にも代え難い大切な財産であります。

皆様方には、今後も私たちの人生の先輩としてお力添えをお願い申し上げますと同時に、安心してお元気でお願いします。ただけるようなまちづくりを、より一層推進してまいります。

結びとなりますが、本日お集まりいただきました皆様方の益々のご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いのごとばとさせていただきます。



余興 見事なマジックショー

敬老インタビュー

森野邊栄次郎さん (宝町)

米寿おめでとうございませう。とてもお元気で「人生80余年」を振り返ってみたお話しを始めると、生き生きと話されました。

人生設計を長期、中期、短期と計画立てて過ごされ、節目には記録を文章にして残されています。

米寿を迎え、これからの計画や目標は？とお尋ねしたところ、ドイツ語を今以上に勉強して、ドイツ在住の孫娘に会いに行くことが楽しみです。

健康の秘訣は、毎日食事の材料を買うために外出すること、食べ物に好き嫌いはなく辛いものでも平気で、身の回りや家事のほとんどを「自分でやられています」。

趣味は郷土史研究と旅行で、よく旅行をしますが、地元仲間と一緒に行く老壮会の旅行が一番楽しいようです。

15年ほど前に、刈谷の伝統ある万燈祭りを活性化しようと、地域と地元企業が一体となって取り組む活動をしました。その結果お祭りが大盛況になってきています。

(地区広報 三浦 俊和)



いつまでもお元気で

熊地区夏祭りをおえて

公民館長 三浦 喜代次

7月23日24日に、熊野公園にて「熊地区夏祭り」を開催いたしました。

両日とも天候に恵まれ、多くの方のご参加をいただきました。(過去最高)

本年は例年の盆踊りに加え、次の3点を企画しました。

1点目は、竹燈りの会の皆さまによる「花火をテーマにした、創作「竹燈ろう」」の展示です。

お盆にふさわしくロウソクの「優しいあかり」が人目を引いていました。

2点目は、自主防災会による、非常食「アルファ米」の試食です。

お子さんに食べていただくとうと茶巾しほりにしたおにぎりをふるまいました。

初めて食べるお子さんも「美味しい、美味い」と言っていて、たこ焼きのように2つ3つとほおぼっていました。

3点目は、盆踊りに長年交流のある泉田地区より「泉田小唄」保存会の皆さまをお招きし、踊りを披露して頂きました。

その後、踊りの輪に加わって頂き「真赤な法被」が華を添えていました。

最後になりましたが、公園近くに住まいの方々のご理解と、商店、企業の皆さまから寄せられたご厚志、そして団体のご協力ご支援に深く感謝とお礼を申し上げます。



熊竹燈りだより

熊竹燈りの会代表 井上 直之

中万燈製作

今年も竹燈りメンバーにより、中万燈を新作披露することができました。

今年の作品は歌舞伎の代表作で主人公の荒事役が「暫く」と声をかけて現れ、悪人どもをこらしめる場面を表した作品です。平面の絵から、いかに立体的に力強さを表現するか試行錯誤を重ねながら完成した喜びはひとしおです。



力作の中万燈

竹燈ろう製作

熊地区夏祭りでも幻想的な雰囲気味わつてもらえたらとのアイデアで、竹筒にいろいろな穴をあけて中にロウソクを立て点灯し「花火」を表現してみました。

初めての取組みで反省もありますが、闇をほのかに照らす神秘的な光を味わつて頂けたでしょうか。



打ち上げない花火

防災リーダーを紹介します

自主防災会副会長 近藤 輝和

4月の熊本地震の大災害に見られるように、いづれどこで地震が起きてもおかしくないのが今の日本であるようです。

刈谷市では、各地区内における自主防災の強化を図るため、専門知識を持った防災リーダーの養成講座を行つていきます。

愛知県のリーダー講習を修了された2名を含め、現在熊地区には18名の防災リーダーがいますので紹介します。

- あいち防災カレッジ修了者
- 森野邊栄次郎 笠松信子
- 刈谷市防災リーダー養成講座修了者
- 平成24年度修了者
- 柘植敏彦 鈴木富佐夫
- 平成25年度修了者
- 三浦市太郎 三浦正明
- 平成26年度修了者
- 山下明美 深谷実千代
- 池田千枝子 北川より子
- 平成27年度修了者
- 三浦末二 浅岡明秀 近藤輝和
- 平成28年度修了者
- 鈴木眞二 三浦俊和 金子和代
- 杉田千代子 黒川正道

去る九月三日に、防災リーダー養成講座修了者の研修会を開催しましたところ18名全員が集まりました。

熊地区の防災・減災のため、防災リーダーとしての資質と自覚をいっそう高めていこうと、意を新たにしています。

思い出になった敬老会

五年 對間 彩華

わたしは、敬老会で合唱部として出ました。ふだんは、六十三人でやっていたけど敬老会は、二十三人で出ました。最初の方は、きんちようしてただけで歌つていくうちに、きんちようがなくなり



ました。敬老会で、歌った曲は、重唱の六年生三人が「赤とんぼ」四、五、六年生の全員で「もみじ・星の世界・ふるさと」を歌いました。おじいちゃん、おばあちゃん達は、楽しそうに合唱を聞いてくれたのでよかったです。

夏まつり

三年 村上 恵理

わたしは、熊地区の夏まつりに行きました。ゆかたをきて、熊野公園に行くけどわなげと、ボールすくい、バルーンアートがありました。その中でもわなげが楽しかったです。一つだけ入って、光って首にかけられるおもちゃをもらいました。

まんどまつり

三年 大口 日向

わたしは、まんどまつりでおはやしをふきました。はじめてふくおはやしは、とてもむずかしかったです。はじめは、音をならすこともできなかったけれど、れん習するとだんだん音をだせるようになりまし。おはやしの音は、すぐきれいな音なので、音が出せるようになるまんどまつりが楽しになりました。

まんどまつりでは、たいこの音にあわせることと、あるいておはやしをふくことがむずかしかったです。でも、わたしたちが作った子どもまんどや大きいまんどが音にあわせてまわっていてきれいでした。つかれたけど、楽しかったです。

ラジオ体そう

三年 岩本 紫音

夏休みにラジオ体そうがありました。わたしはラジオ体そうのある日、六時に起きます。ちよとねむい日もあったけど、がんばって起きました。ラジオ体そうに、できない部分もありませんでした。だけ

ど、できるように、がんばって体そうしました。帰ってからも、ちゃんと朝ごはんを食べて、一日を、元気に楽しく過ごせました。



芝田山親方 熊公民館を来訪

公民館主事 高野 清

七月に大相撲名古屋場所が開催されました。豊田自動織機大府工場を宿舍にしておられることから、そのご縁で地域の訪問活動の一環として当館を訪問され、熊地区の高齢者の方が招待される事になりました。

七月一日、早朝よりなでしこ会の皆さんと部屋の力士による「特性チャンコン」の調理が開始されその後、芝田山親方、行事さん、呼出さんが来館されました。

会場は五十人を超える方が待つておられ、入るなり、普段接することのない大きな力士の前に一同、感嘆の声で一杯になりました。親方の苦労話、呼出による実演、相撲文字で「熊」の披露、最後に全員による記念撮影で無事終了しました。参加者には、チャンコがふるまわれ、皆様満足の様子でした。

最高齢九十二歳で参加の今井さんが「横綱大乃国さんとお目に掛かれて幸せです」と感想を述べられました。



熊の歴史(熊村の始まり)

熊郷土史研究会会長 竹中 兼利

安養寺の寺伝によれば養嚴(専光坊舟行)という人が八幡山に一字を建てて熊野三社権現を祀ったことからこのあたりを熊野村というようになった。後に野をばういて熊村というようになったとい

ます。三河三ヶ寺の中心、野寺の本証寺の文書にくまむら三浦源左衛門尉家長の名が見えます。

慶長九年(一六〇四)になって住僧法珍が教如上人に帰依して浄土真宗大谷派に改宗したため、熊野権現を熊野神社の現在地に移したとい

しかし、村の起りは奈良時代にさかのぼるとい説もあります。平城宮跡から出土した木簡に碧海郡(現在西三河)前里と云うことばが見られます。前をくまと読むことは例があるとのこと。これが事実であれば奈良時代には熊の里があり、人が住んでいたことになり

ます。また、奈良時代から平安時代そして鎌倉時代には人が住んでいたことは八幡町の前屋敷一号貝塚・前屋敷二号貝塚から奈良時代の須恵器や製塩土器、平安時代の灰釉陶器、鎌倉時代の山茶碗、室町時代の緑釉皿等が発掘されたことから分かります。

老壮会だより

老壮会会長 村井 修治

★いきいきサロン開設

平成二十八年五月から熊老壮会は、会員以外の方も対象に月一回「いきいきサロン」を熊市民館「老人いこいの場」で開催いたしております。左記に開催した一部の写真を載せました。皆さん生き生きしているでしょう、笑顔がいい！

熊地区の皆さん六十歳以上であれば誰でも参加できます。高齢期をみんなで楽しみ、いつまでも元気で暮らしましょう！

▼昔の教科書をみんなで読む



▼健康体操



▼コーヒータイト



熊野神社だより

氏子総代会会長 村井 敏光

空は澄み渡り、秋祭りの笛・太鼓の音が聞こえる、さわやかな季節になりました。「秋の大祭」開催にあたり、熊地区の皆様方、町内の企業・商店の皆様方から大祭奉賛金のご寄進をいただき、誠にありがとうございます。氏子総代は、これらをもとに、安心安全な、楽しいお祭りになるよう努めます。

「村の鎮守のお祭り 大祭」は左記のとおりです。多くの方々のご出席・ご参拝をお待ちしております。

▽大祭開催日 十月九日(日)式典十時

▽主な行事

- ・煙火打ち上げ 八時
- ・神輿町内巡回 十時・鈴祓い 十二時
- ・卯辰厄年会厄払い式 十二時三十分
- ・餅投げ(子ども・氏子・厄年) 十五時
- ・団子の販売 ・バルーンアート(風船)

「報国神社例祭」・毎月の「月次祭」においては、熊地区の皆様方大勢の参拝を頂き有難うございました。



熊なでしこ会だより

代表 藤田 政夫

七月一日なごやかサロンでは、芝田山親方と、交流会で美味しい、ちゃんこ鍋をご馳走になりました。美味しかったね？ 八月はお休みでした。

九月二日は防災について、赤十字奉仕団の指導で、避難時に暖かく過ごす方法を指導して頂きました。毛布と紐一本と洗濯ばさみ三個を使いガウンを作りました。ホットタオルの作り方も教えて頂き、非常に役に立ちました。防災は、いつ来ても常に対応できる事が大切ですが、自分の命は自分で守る様に、これからも繰り返し訓練・指導に参加する事の重要性がよくわかりました。

これからも、なごやかサロンでは色々な事を計画していますので、是非参加して下さい。お待ちしております。

婦人会からのお知らせ

婦人会広報 吉永 万莉

★六月〜七月にかけて、民踊愛好会様のご指導を頂き、盆踊りの練習を行いました。

★熊地区夏祭りでは、浴衣姿で太虎連の響きに合わせ、皆様と輪になって、楽しく踊ることができました。

★刈谷市民盆踊り大会では、熊老壮会、民踊愛好会、刈谷市婦人会の皆様はじめ、沢山の方々と共に楽しく踊り、又檜の上で、しんちゃん音頭と熊の音頭を踊らせて頂きました。

★敬老会では、お琴の演奏に合わせて、「荒城の月」「青い山脈」「ふるさと」を皆様と楽しく歌いました。



楽しい夏祭りのひととき

刈谷市消防団第四分団より

分団長 磯村 尚樹

はじめに、地区の皆様のご理解とご支援に対しまして、厚く御礼申し上げます。

一部の方々はご存知ですが、六月十二日に刈谷市消防操法競技会が行われました。私達は競技会に向けて四月から仕事や学業等の多忙の中、早朝訓練を週三〜四日、場所は亀城小学校校庭で訓練を行ってきました。少人数でも一丸となって訓練に励んだ結果三位を受賞できました。しかし団員数が非常に少ないため、一人一人の作業等の負荷が毎回高い状態です。

競技会終了後の七〜九月の主な活動は水防訓練、消火栓・防火水槽の点検、盆踊りの警備などです。

最後に現在消防団員の在籍数が非常に少なく、活動に支障をきたす状況になりそうです。十八歳以上の方々の住んでいる地区のために消防団活動をおこないませんか？いつでも募集いたしますのでご協力をお願いいたします。